

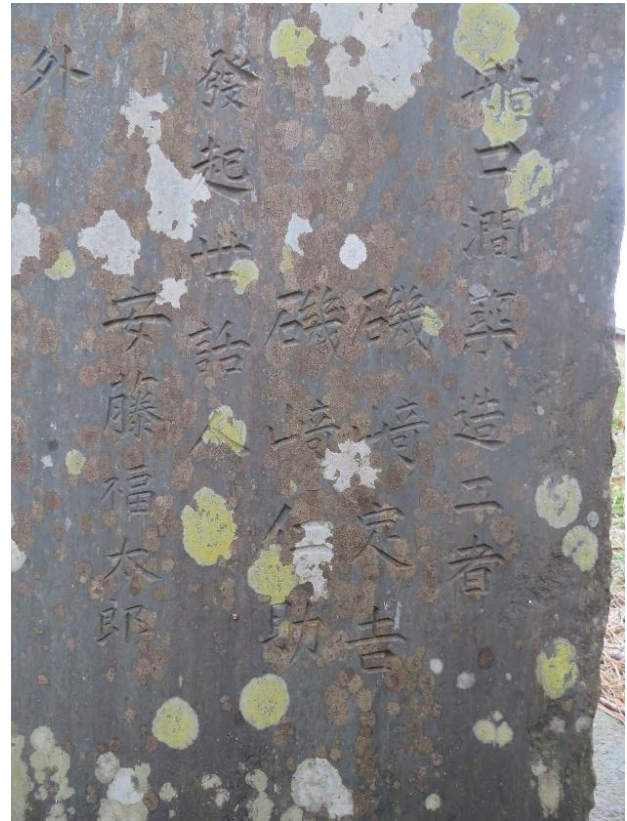
玉川船口潤築記念碑

JR八戸線玉川駅から東、海沿いの道を進むと、眼下の海を眺めるように立つ石碑が一つ。

石碑の正面に回って見ると「金刀比羅大神」の文字が。

下に視線を向けると

「船口潤築造工者」として南部もぐりの祖『磯崎定吉』と、その義弟で弟子でもある『磯崎仁助』の名が刻まれています。



詳細は不明ですが、この地域では、遠浅の地形のためか船が座礁することも多く、「船口潤築」という文字の感じから、船が港に出入りできるように、遠浅の岩盤を掘削し水深を深くする工事をしたのでしょうか？